

日立造船(株) 古川会長・谷所社長による市長表敬 (記録)

1 日時 平成28年4月5日(水) 13:10~13:40

2 場所 特別応接室

3 来訪者

代表取締役会長

古川 実 (ふるかわ・みのる)

代表取締役社長兼CEO

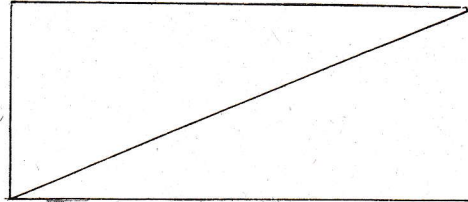
谷所 敬 (たにしよ・たかし)

(随行)

舞鶴工場

総務・人事部

総務・人事部秘書室



4 応対者

多々見市長・木村副市長・堤副市長(陪席 砂原部長、新宮室長、有吉課長、小島担当課長)

5 懇談内容

(2) 「パーム油発電所」について

【古川会長】

- エネット舞鶴発電所については撤去せざるを得ない状況に至った。跡地利用については、今後いろんなことを考えていきたい。

【市長】

- 跡地の活用については是非よい話になることを期待している。麒麟、資生堂、ダイワボウなど企業が舞鶴から出ていく中で、御社にも出ていかれるとダメージが大きい。パーム油

発電所については是非舞鶴市内でやってほしい。

- 現在の進捗について報告を受けているが、候補地となっている平・大波下ふ頭の利用については、京都府から使用可能である旨、言ってもらっている。船が接岸でき、タンクも設置可能で、ご希望の11万kWまで実現可能である。

【古川会長】

- 市長自ら地図や資料を用いてご説明いただき驚いた。早速、社長の方から指示を出す。